

山梨県立甲府高等学校同窓会  
山梨県立甲府第一高等学校同窓会  
山梨県立甲府西高等学校同窓会

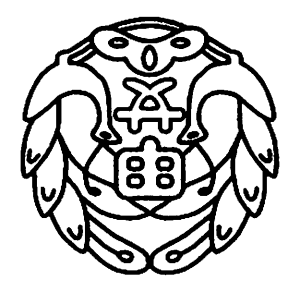
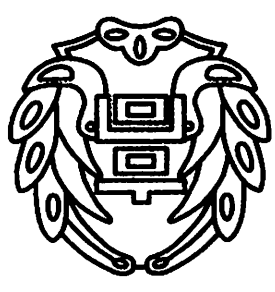
# 定期総会



～次代と悠久の  
その先へ～

TSUNAGU

絆人



# 山梨県立高等女学校 校歌

## 山梨県立甲府高等女学校

作詞 本多 龜 三  
作曲 三谷 良 太

♩=96



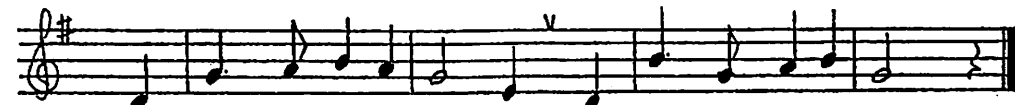
1. そ こ つ い わ ね に ま き ー ば し ら



ふ と し き た て し ま な ー び や の



に わ に め ぐ み の つ ゆ ー し げ く



そ だ つ わ れ ら ぞ さ ち ー お お き

四

三

二

一

未だ二葉なる姫小松  
教の雨にうるほひて  
春立つ毎に色を添へ  
榮えゆくこそめでたけれ

皇國に無雙勝景なる  
金溪をしのぶ荒川の  
清き流れを鑑とし  
貞淑の心磨かなむ

皇國の鎮と峙ちて  
千代に動かぬ富士の嶺の  
靈しき姿を仰ぎつゝ  
節操の心高めなむ

底つ磐根に眞木柱  
太しき立てし學び舎の  
庭に皇恩の露繁く  
育つ我等ぞ幸多き

# 山梨県立甲府第二高等学校 山梨県立甲府西高等学校 校歌

作詞 尾崎喜八  
作曲 平井康三郎

一

立ちならぶ四方の山々  
めぐり出る豊のながれに  
美わしや甲斐の國中  
歴史古る大さ都よ  
こ、にして母校のいらか  
玉の窓空に映えたり

二

身は鍛え心清めつ  
いや深く学を修めて  
世の幸と国の栄に  
つくさなん高き理想よ  
その夢のうつの姿  
まなかいの富士に見るかな

三

峡深く結ぶ粗玉  
磨かざば光あらじな  
秀すべき資性のさまざま  
生い立たす愛の母校よ  
称えなんとこしえかけて  
甲府なる我が西高



甲府高等女学校



甲府第二高等学校



甲府西高等学校

# 総目次

とびら

校歌

甲女 西高

総目次 ..... 1

写真頁 ..... 2～4

あいさつ

..... 甲府西高等学校同窓会会長 坂本悦子 5

..... 第116回定期総会実行委員会委員長 曾根順子 6

..... 甲府西高等学校校長 初鹿野 仁 7

## 第116回定期総会

総会次第 ..... 8

令和元年度事業報告書 ..... 9～10

令和2年度事業報告書 ..... 11～12

令和元年度同窓会収支計算書 ..... 13～14

令和2年度同窓会収支予算書(案) ..... 15

令和2年度同窓会収支補正予算書(案) ..... 16

令和2年度同窓会収支計算書 ..... 17～18

第115回同窓会定期総会収支計算書 ..... 19

令和元年度企画部事業報告 ..... 20

令和3年度事業計画書(案) ..... 21

令和3年度同窓会収支予算書(案) ..... 22

第116回同窓会定期総会収支予算書(案) ..... 23

同窓会役員 ..... 24～26

同窓会会則 ..... 27～28

## 特 集

繋ぐ TUNAGU ..... 29～38

## がんばっている在校生

令和元年度・2年度全国大会・関東大会出場および活躍の記録 ..... 39～40

進路状況 ..... 41～42

協賛者寄付者御芳名 ..... 43～58

甲府西高等学校第116回定期総会実行委員会、編集後記 ..... 59

奥付 ..... 60

同窓会 2019 第 115 回定期総会 令和元年 5 月 11 日  
 テーマ：歴史と伝統 素晴らしい未来 さあ～新しい時代へ my life your life



第 115 回定期総会会長挨拶



実行委員会引継ぎ



新入会員の紹介



甲府西高音楽部



伸太郎 LIVE



伸太郎 LIVE



傘寿



お疲れ様でした

# 在校生 2019



4月12日 新入生オリエンテーション



4月26日 総体壮行会



5月8日 総合体育大会



6月27日 鳳凰祭①



6月29日 鳳凰祭②



9月30日 球技大会



10月9日 健康の森ウォーキング



12月9日 修学旅行

# 在校生 2020



5月25日 新入生歓迎セレモニー



7月24日 文化局発表会



7月24日 全国高校野球選手権大会



9月4日 鳳凰祭



10月10日 プレIB授業



3月1日 卒業証書授与式



3月12日 1年次球技大会



3月14日 修学旅行





## あいさつ

甲府西高等学校同窓会  
会長 坂本悦子

朝夕の涼風に秋の気配がします。

同窓生の皆様には常日頃、多大なるご支援ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

世界を襲う新型コロナ禍の中、同窓生の皆様には、息災にお過ごしのことと、念じております。

このコロナ禍の中、昨年の同窓会総会並びに懇親会は、中止せざるを得ない状況となりました。更に本年度も再度懇親会は中止とし、総会のみ、学校の体育館をお借りして、実施する予定でしたが、それも叶わず、紙上によって総会の決裁として頂くこととなりました。本当に残念で仕方ありません。しかし同窓生の皆様の命の安全・安心を考えた時、止むを得ない決定であったと、同窓生の皆様のご理解をお願い致します。

さて私も4年半前、長坂会長より会長を譲り受け力不足ではありましたが、会長を務めて参りました。甲府高女、甲府二高、甲府西高と、長い伝統と数々の栄誉を残してきた我々の母校の同窓会は、世界で羽ばたく同窓生を輩出しています。新聞等でその活躍を知る度に、母校に対する深い愛情を覚えます。来年度は母校創立120周年を迎えます。女子教育の先導者として、更に総合選抜への参加以来は、文武両道に秀でた学校となり、確実に県下屈指の学校となりました。同窓会としては学校またそこに学ぶ生徒の皆さんに側面からの惜しみない支援をして参っています。奨学金の贈呈、教育活動支援金の贈呈、去年はコロナ禍の中エアコン設備、トイレ清掃用具などの支援を致しました。また120周年には記念事業が盛大に開催されますように、同窓会の皆様の多大なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

今年度からは30回生、すなわち総合選抜男女共学1期生の石原会長が同窓会会長として新たな視点で同窓会を更に発展して頂けるものと期待しています。

これまでご無理なお願い等、して参りましたが、同窓生の皆様のひろいお心で聞き届けて頂き衷心よりお礼を申し上げます。

最後になりましたが甲府西高の更なる発展と同窓会の躍進をお祈り申し上げ、並びに同窓生の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ挨拶と致します。

本当にありがとうございました。



## あいさつ

甲府西高等学校同窓会  
第116回定期総会実行委員会  
委員長 曾根 順子

新緑が眩しい5月の季節、同窓生の皆さまとは例年のようにお会いして旧交を深める  
ところでしたが世界中を巻き込んだ未曾有のコロナ感染症蔓延の中、断腸の想いではあり  
ましたが、会期を一年延期から中止の決定をせざるを得なくなりました。今日まで総会・  
懇親会開催に向けてご尽力していただいた全ての関係者の皆さまにまずはお礼を申し上げ  
たいと思います。

本当にイレギュラーな年ではありましたが第116回同窓会実行委員会では高29回生  
を中心に9回生・19回生・39回生の皆さまと準備を進めて参りました。準備に携わっ  
て来た中では甲府高等女学校時代の皆さま方の母校への熱い思いや卒業生としての誇りを  
強く感じる事が出来、同じ同窓生として感慨深いものがありました。また私自身、卒後  
40年以上経て再び母校と向き合う有意義な時間を与えて頂いた事には大変感謝しており  
ます。

私たち29回生は甲府二高最後の女子高生でした。ですから共学として新しく生まれ変  
わった甲府西高へスムーズにバトンタッチが出来るようにと総会誌の大テーマを「繋ぐ」  
とし、小テーマを「～次代と悠久のその先へ～」とさせて頂きました。また表紙は甲  
女39回生の佐藤八重子さまにお願いして、とても力強く生命力を感じさせる絵画を頂戴  
することができました。佐藤さまは親子3代で甲府西高出身という私たちの掲げたテーマ  
にもピッタリの方でした。

第116回は特別な形での総会誌とはなってしまいましたが甲府二高最後の総会誌を印  
象付けるには十分なものとなりました。どうか今年の特別な総会誌を手にした方には今年  
を振り返った時に「コロナ感染症なんていうものが流行った時代があったねえ」と笑って  
思い出していただければ幸いです。



## あ い さ つ

甲府西高等学校  
校長 初鹿野 仁

さわやかな秋の風が心地よく感じられる季節、本日ここに、第116回同窓会定期総会が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。また、皆様には、平素より母校の教育振興のために、格段のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本来であれば700名を超える同窓生の皆様が一堂に会し、会食をしながら交流を深めると伺っております。しかしながら今回は、新型コロナウイルス感染症防止のために、昨年5月の開催予定がここまで延期となったことに加え、急遽、本校の体育館で総会のみ開催することになり、同窓生の皆様の落胆はいかばかりかと拝察いたします。一方で、普段はなかなか母校を訪れる機会も持てないのではないかと思いますので、これを機に足をお運びいただき、本校の静かな佇まいや真面目で前向きな生徒の様子から、今の西高を感じてもらえればと思っております。総会誌のテーマ「繋ぐ ～次代と悠久のその先へ～」のとおり、同窓生の皆様が大切にしてくられた自主・自律の精神を尊ぶ、静かで穏やかな学び舎の雰囲気は、今も大切に受け継がれていることを感じていただけるものと考えております。

ところで、今年度は本校の歴史に新しい1ページが加わる記念すべき年となります。2019年に本校は、国際バカロレア（IB）機構からIBワールドスクールに正式に認定され、今年度から本格的に授業が始まっております。国際バカロレアの教育理念の一つに「多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、よりよい平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目指した全人教育」が掲げられていますが、本校の教育目標と重なり合う部分が多く、IBワールドスクールの特色を取り入れ、より充実した教育活動を展開することで、本校の更なる飛躍と発展につながるものと確信しております。

それぞれの時代の生徒一人ひとりが、大切な青春時代を懸命に生き、充実した日々を送ることこそ、母校に誇りを持ち、母校の伝統の継続を可能ならしめる最も大切な要素であると考えております。その意味では、現役の西高生が充実した日々を送れるよう環境を整え、情熱を傾けて指導することこそ、我々教職員の責務であると考えております。これからも時代のニーズをしっかりと把握し、同窓生の諸先輩方が大切にしてくられた伝統との調和を図ることにより、いつの時代にも揺らぐことのない確固とした甲府西高校の教育を実践していく所存であります。

結びに、同窓会定期総会実行委員の皆様方のご尽力に対し、心から敬意を表するとともに、同窓生の皆様方の益々のご健勝並びに同窓会の更なる発展をご祈念申し上げ、あいさつといたします。

# 第116回 甲府西高同窓会定期総会 次第

日時 令和3年10月9日(土)

9時30分受付

10時30分開会

場所 甲府西高等学校体育館

- 1 開会のことば
- 2 物故 恩師・会員に黙祷
- 3 同窓会長あいさつ
- 4 学校長あいさつ
- 5 議長選出
- 6 議 事
  - (1) 令和元年度及び令和2年度 事業報告
  - (2) 令和元年度及び令和2年度 会計報告
  - (3) 第115回定期総会 会計報告
  - (4) 会計監査報告
  - (5) 役員改選・新役員委嘱
  - (6) 令和3年度 事業計画(案)
  - (7) 令和3年度 予算(案)
  - (8) 第116回定期総会 予算(案)
  - (9) その他
- 7 議長解任
- 8 感謝状贈呈
- 9 新入会員紹介・花束贈呈(高72・73回生)
- 10 傘寿の祝い(高11回生)
- 11 次期 第117回定期総会当番回生へ引き継ぎ(高30回生)
- 12 閉会のことば

# 令和元年度 事業報告書

## 平成 31 年

4 月 7 日 母校入学式 会長出席

## 令和元年

5 月 11 日 第 115 回同窓会定期総会 於 甲府記念日ホテル

### 第 1 部 総会

出席者 678 名 総会誌・会報第 22 号を配布

- 1 平成 30 年度事業報告と会計報告及び監査報告
- 2 役員改選・新役員委嘱
- 3 平成 31 年度事業計画案及び予算案提出 承認される
- 4 高 10 回生の出席者 86 名に傘寿記念品贈呈
- 5 次期当番回生への引き継ぎ

### 第 2 部 懇親会 アトラクション

- 1 甲府西高音楽部の発表
- 2 伸太郎 LIVE

5 月 17 日 東京支部総会 出席者 80 名 於 東京新高輪プリンスホテル

顧問・正副会長 7 名出席 祝金贈呈

支部長交代 新支部長・米山正樹

5 月 26 日 西高吹奏楽部定期演奏会 於 コラニー文化ホール 会長出席 祝金贈呈

6 月 3 日 第 1 回常任理事会 於 鳳凰館

- 1 令和元年度の事業について
- 2 第 115 回定期総会報告・反省
- 3 第 116 回定期総会への要望
- 4 東京支部の総会について
- 5 各部の報告

6 月 19 日 西美会展 (6 月 19 日～6 月 23 日) 於 県立美術館 会長出席 祝金贈呈

6 月 19 日 第 1 回理事会 於 鳳凰館

- 1 令和元年度の事業について
- 2 第 115 回定期総会報告・反省
- 3 第 116 回定期総会 (令和 2 年 5 月 11 日・甲府記念日ホテル) への要望
- 4 東京支部の総会について
- 5 各部の報告

6 月 29 日 鳳凰祭・校内発表 会長出席 祝金贈呈

9 月 20 日 第 2 回理事会 於 鳳凰館

講演会 「長唄演奏」 講師：志村かしわ (高 31 回生)

- 1 第 115 回定期総会の会計報告について
- 2 第 116 回定期総会の進捗状況について

- 10月11日 第2回常任理事会 於 鳳凰館
- 1 企画部事業報告（講演会・演奏会）及び来年度への要望について
  - 2 第 115 回定期総会会計報告について
  - 3 第 116 回定期総会の進捗状況について
  - 4 奨学金の贈呈 3年生5名に5万円づつ

令和2年

- 1月11日 第3回常任理事会・新年互礼会 於 古名屋ホテル
- 1 令和2年度の事業について  
例年通り ホームページ・奨学金制度も続ける
  - 2 歳末助け合い募金について  
総額 209,613 円 学校へ奨学金基金として 100,000 円 山日へ 109,613 円
  - 3 第 116 回定期総会の進捗状況について

- 2月6日 第4回常任理事会 於 鳳凰館
- 同窓会入会式のための書類袋詰め
- 1 新年度企画部事業の検討について
  - 2 同窓会入会式・卒業式について
  - 3 令和2年度役員（理事）の変更について
  - 4 第 116 回定期総会の進捗状況について
  - 5 アメリカ短期留学、隔年 20 名に 1 人 1 万円の贈呈について  
理事会終了後、同窓会入会式の打ち合わせ

- 2月6日 第3回理事会 於 鳳凰館
- 総会チケット配布及び協賛金受付
- 1 令和2年度の事業について
  - 2 同窓会入会式 卒業記念品として印鑑及び印鑑ケースを卒業生に贈呈
  - 3 令和2年度役員（理事）について
  - 4 第 116 回定期総会の進捗状況について
  - 5 講演会の報告
  - 6 歳末助け合い募金について
  - 7 アメリカ短期留学、隔年 20 名に 1 人 1 万円の贈呈について

2月28日 同窓会入会式 於 西高体育館 正副会長及び常任理事出席

3月1日 卒業証書授与式

- 3月23日 第5回常任理事会 於 鳳凰館
- 1 第 116 回同窓会定期総会の延期（令和3年5月16日）について
  - 2 令和元年度事業報告及び決算報告
  - 3 令和2年度の事業計画（案）及び予算（案）について
  - 4 第 116 回定期総会の進捗状況について

4月1日 第4回理事会 中止

※ その他執行部・各部会は会議を年間数回実施して会の運営にあたる

## 令和 2 年度 事業報告書

### 令和 2 年

- 4 月 8 日 母校入学式 ※新型コロナ感染症により欠席、祝詞を送る
- 5 月 17 日 第 116 回同窓会定期総会 延期 ※令和 3 年 5 月 16 日  
※同窓会ホームページ掲載  
※5 月 2 日山梨日日新聞、5 月 8 日山梨新報に延期広告掲載
- 6 月 6 日 臨時総会（書面議決）の通知  
1 1 号議案 同窓会財産の一部を甲府西高に寄付する件  
2 2 号議案 令和 2 年度予算案並びに令和 2 年度補正予算案  
※臨時総会のお知らせ 同窓会ホームページ、山梨日日新聞に掲載
- 6 月 14 日 東京支部総会 延期 令和 3 年 5 月 30 日
- 6 月 16 日 臨時総会（書面議決）2 議案を承認
- 6 月 25 日 寄付贈呈式 於 西高校長室  
出席者 坂本悦子会長他 4 名 手島俊樹校長他 3 名 生徒会正副会長
- 9 月 8 日 鳳凰祭 於 YCC 文化ホール 祝金贈呈
- 10 月 12 日 第 1 回常任理事会 於 鳳凰館  
1 会則の一部改正について  
2 会計の表記について  
3 令和 3 年度講演会について  
4 第 116 回定期総会について  
令和 3 年 5 月 16 日 西高体育館に於いて総会のみ実施
- 11 月 27 日 第 1 回理事会 於 鳳凰館  
1 会則の一部改正について  
2 会計の表記について  
3 令和 3 年度講演会について  
4 第 116 回定期総会について  
令和 3 年 5 月 16 日 西高体育館に於いて総会のみ実施

令和3年

- 2月8日 第2回常任理事会及び理事会 中止
- 2月27日 同窓会入会式 正副会長出席 放送室より放送にて行う
- 3月1日 卒業証書授与式 会長の祝辞（印刷）配布
- 3月23日 第2回常任理事会 於 鳳凰館
  - 1 会則の一部改正について
  - 2 令和2年度事業報告及び決算報告
  - 3 令和3年度の事業計画（案）及び予算（案）について
  - 4 令和3・4年度新役員について
  - 5 第116回定期総会の進捗状況について
- 4月9日 第2回理事会 於 鳳凰館
  - 1 会則の一部改正について
  - 2 令和2年度事業報告及び決算報告
  - 3 令和3年度事業計画（案）及び予算（案）について
  - 4 令和3・4年度新役員について
  - 5 第116回定期総会の進捗状況について

※ その他執行部・各部会は会議を年間数回実施して会の運営にあたる



## 令和元年度 同窓会収支計算書

平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで

収入総額	支出総額	差引額
3,673,707	2,678,932	994,775

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
前年度繰越金	958,682	958,682	0	
会 費	2,370,000	2,360,000	10,000	新会員会費10,000円×236名
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	1,000	355,025	△ 354,025	総会残金252,214円 利息11円 コピー 使用料2,800円 募金の一部100,000円
収 入 合 計	3,329,682	3,673,707	△ 344,025	

## 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
謝 礼 金	90,000	100,000	△ 10,000	講演会謝礼
旅 費	70,000	60,797	9,203	支部総会・首都圏西高会参加等
消 耗 品 費	40,000	26,712	13,288	事務用品等
記 念 品 代	237,000	237,000	0	卒業生記念品
会 議 費	450,000	466,324	△ 16,324	常任理事会・専門部活動等
印 刷 製 本 費	360,000	11,844	348,156	会報等印刷
通 信 運 搬 費	80,000	65,497	14,503	各会議通知郵送料等
手 数 料	30,000	24,166	5,834	銀行貸金庫・残高証明・振込手数料等
教 育 振 興 費	1,000,000	1,000,000	0	学校協力費
雑 費	20,000	18,592	1,408	かぎ・お礼・挨拶用菓子等
慶 弔 費	30,000	0	30,000	
活 動 費	140,000	218,000	△ 78,000	支部総会・各種催事参加祝金等
事 業 費	450,000	450,000	0	総会準備金、奨学金
同窓会積立金	0	0	0	
予 備 費	332,682	0	332,682	
支 出 合 計	3,329,682	2,678,932	650,750	

## 令和元年度 同窓会収支計算書

現金	91,778
普通預金	902,997
定期預金	26,306,947

上記の通り報告いたします。

令和2年3月31日

同窓会長 坂本悦子 (印)  
会計担当 安達映美 (印) 土屋和子 (印)  
望月かすみ (印) 本道民呼 (印)

厳正に監査の結果、諸帳簿、証票ともに適正に処理されていたことを確認しました。

令和2年4月6日

会計監査員 久保嶋 仁 (印)  
塩島正文 (印)

# 令和 2 年度 同窓会収支予算書(案)

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

収入総額	支出総額	差引額
3,344,785	3,344,785	0

## 収入の部

(単位:円)

科 目	2年度予算額	元年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	994,775	958,682	36,093	
会 費	2,350,000	2,370,000	△ 20,000	新会員235名
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	10	1,000	△ 990	利息等
収 入 合 計	3,344,785	3,329,682	15,103	

## 支出の部

科 目	2年度予算額	元年度予算額	増 減	備 考
謝 礼 金	0	90,000	△ 90,000	講師謝礼等
旅 費	50,000	70,000	△ 20,000	首都圏西高会参加等
消 耗 品 費	20,000	40,000	△ 20,000	事務用品等
記 念 品 代	235,000	237,000	△ 2,000	卒業記念品等
会 議 費	400,000	450,000	△ 50,000	常任理事会等
印 刷 製 本 費	360,000	360,000	0	広報等
通 信 運 搬 費	50,000	80,000	△ 30,000	理事会通知等
手 数 料	30,000	30,000	0	銀行貸金庫、残高証明・振込手数料等
教 育 振 興 費	1,000,000	1,000,000	0	学校協力費
雑 費	20,000	20,000	0	お礼等
慶 弔 費	30,000	30,000	0	
活 動 費	150,000	140,000	10,000	首都圏西高会・各種催事祝金等
事 業 費	650,000	450,000	200,000	奨学金・語学留学補助・総会準備金
同窓会積立金	0	0	0	
予 備 費	349,785	332,682	17,103	
支 出 合 計	3,344,785	3,329,682	15,103	

# 令和2年度 同窓会収支補正予算書(案)

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

収入総額	支出総額	差引額
8,144,785	8,144,785	0

## 収入の部

(単位:円)

科 目	2年度予算額	元年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	994,775	958,682	36,093	
会 費	2,350,000	2,370,000	△ 20,000	新会員235名
寄 付 金	0	0	0	
積立金取崩収入	4,800,000	0	4,800,000	
雑 収 入	10	1,000	△ 990	利息等
収 入 合 計	8,144,785	3,329,682	4,815,103	

## 支出の部

科 目	2年度予算額	元年度予算額	増 減	備 考
謝 礼 金	0	90,000	△ 90,000	講師謝礼等
旅 費	50,000	70,000	△ 20,000	首都圏西高会参加等
消 耗 品 費	20,000	40,000	△ 20,000	事務用品等
記 念 品 代	235,000	237,000	△ 2,000	卒業記念品等
会 議 費	400,000	450,000	△ 50,000	常任理事会等
印 刷 製 本 費	360,000	360,000	0	広報等
通 信 運 搬 費	50,000	80,000	△ 30,000	理事会通知等
手 数 料	30,000	30,000	0	銀行貸金庫、残高証明・振込手数料等
教 育 振 興 費	5,800,000	1,000,000	4,800,000	学校協力費・コロナウイルス対策(施設設備)
雑 費	20,000	20,000	0	お礼等
慶 弔 費	30,000	30,000	0	
活 動 費	150,000	140,000	10,000	首都圏西高会・各種催事祝金等
事 業 費	650,000	450,000	200,000	奨学金・語学留学補助・総会準備金
同窓会積立金	0	0	0	
予 備 費	349,785	332,682	17,103	
支 出 合 計	8,144,785	3,329,682	4,815,103	

## 令和 2 年度 同窓会収支計算書

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

収入総額	支出総額	差引額
8,424,787	7,083,156	1,341,631

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
前年度繰越金	994,775	994,775	0	
会 費	2,350,000	2,330,000	20,000	新会員会費10,000円×233名
寄 付 金	0	0	0	
積立金取崩収入	4,800,000	5,100,000	△ 300,000	教育振興費・紙折機購入費用等
雑 収 入	10	12	△ 2	
収 入 合 計	8,144,785	8,424,787	△ 280,002	

## 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
謝 礼 金	0	0	0	
旅 費	50,000	0	50,000	
消 耗 品 費	20,000	40,849	△ 20,849	事務用品等
記 念 品 代	235,000	233,000	0	卒業生記念品
会 議 費	400,000	236,945	163,055	常任理事会・専門部活動等
印 刷 製 本 費	360,000	45,236	314,764	会報印刷等
通 信 運 搬 費	50,000	69,306	△ 19,306	各会議通知郵送料等
手 数 料	30,000	25,190	4,810	銀行貸金庫、残高証明・振込手数料
教 育 振 興 費	5,800,000	5,800,000	0	学校協力費
雑 費	20,000	12,980	7,020	お礼・お祝い花
慶 弔 費	30,000	0	30,000	
活 動 費	150,000	10,000	140,000	お礼
事 業 費	650,000	609,650	40,350	総会準備金・奨学金・広告代
同窓会積立金	0	0	0	
予 備 費	349,785	0	349,785	
支 出 合 計	8,144,785	7,083,156	1,061,629	

## 令和 2 年度 同窓会収支計算書

現 金	112,978
普通預金	1,228,653
定期預金	21,209,188

上記の通り報告いたします。

令和3年3月31日

同窓会長 坂本悦子 (印)

会計担当

安達映美 (印) 土屋和子 (印)

望月かづ (印) 本道民呼 (印)

厳正に監査の結果、諸帳簿、証票ともに適正に処理されていたことを確認しました。

令和3年4月4日

会計監査員

久保嶋 仁 (印)

塩島 正文 (印)

## 第115回 同窓会定期総会収支計算書

収 入 総 額	支 出 総 額	差 引 額
7,075,017	6,822,803	252,214

## 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
広告・協賛金	3,000,000	3,465,000	△ 465,000	企業、会員等からの広告・協賛金
総会会員券	3,000,000	3,340,000	△ 340,000	会費収入 5,000円×668枚
総会準備金	200,000	200,000	0	本会より補助
雑 収 入	50,000	70,017	△ 20,017	祝金、利息等
収 入 合 計	6,250,000	7,075,017	△ 825,017	

## 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
謝 礼 金	500,000	442,499	57,501	アトラクション諸経費
消 耗 品 費	50,000	86,827	△ 36,827	事務用品費
印刷製本費	950,000	1,011,348	△ 61,348	総会誌・会員券・写真代等
通 信 費	50,000	59,302	△ 9,302	来賓案内状、連絡通信費
記 念 品 代	300,000	439,181	△ 139,181	傘寿・来賓の記念品代
広 告 費	220,000	216,000	4,000	山梨日日新聞広告掲載料
会 場 費	3,900,000	4,307,143	△ 407,143	総会・懇親会会場費・食事代等
会 議 費	240,000	258,721	△ 18,721	実行委員会会議費
予 備 費	40,000	1,782	38,218	銀行振込手数料等
支 出 合 計	6,250,000	6,822,803	△ 572,803	

上記の通り報告いたします。

令和 2 年 4 月 6 日

実行委員長

三上 弥貴子

会計部長

米山 弘美

厳正に監査の結果、諸帳簿、証票ともに適正に処理されていたことを確認しました。

令和 2 年 4 月 6 日

会計監査員

久保 嶋 仁

会計監査員

塩 島 正 文

## 令和元年度 事業報告 企画部

講演会〔演奏会〕 9月20日（金曜日）13:30～14:30 於 鳳凰館  
長唄演奏 志村かしわ（岡安喜和）高31回生  
東京藝術大学音楽学部邦楽科長唄専攻卒業  
同大学院研究科修了  
長唄協会会員 東音会会員 長唄東音会同人  
三味線演奏 山本英利子（東音） 芙美和（貴音）  
演 目 『勸進帳』『雨の四季』『鷺娘』より



### 出席者感想

- ・長唄も三味線も素晴らしかったです。
- ・日本舞踊の舞台が思い描けました。
- ・かしわさんの解説があり、とても分かり易く楽しいひと時でした。
- ・長唄の魅力をさらに知りたいと思います。

### ————— そろそろ邦楽はいかが？ 志村かしわ —————

近年はグローバルな世の中になり、お稽古事や趣味も実に多種多様です。そんな色々な体験をした後に行き着く所は自国の伝統文化のようです。『江戸長唄』は、歌舞伎の舞踊音楽として誕生し、音楽だけでも観賞したいと盛んに演奏されるようになりました。これからも更に長唄を広めるために活動していく所存です。



# 令和3年度 事業計画書(案)

- 1 第116回定期総会の開催と第117回定期総会の準備
 

総会は同窓会の一大事業として、実行委員会に付託し、世代を超えた多くの同窓生が参加し、交流と親睦を深める場とする。

\*第116回定期総会については総会のみ実施し、懇親会は実施しない。
- 2 理事会及び常任理事会の開催と会議録の作成
 

理事会、常任理事会など、諸会議の通知はもとより、会議内容、決定事項は会議録に残し、保管する。甲府西高同窓会HPに日程を掲載する。
- 3 会報の発行と配布
 

会報は同窓会及び同窓生の活動を伝えるために、内容の充実に努め、会員に愛され喜ばれる誌面にする。そのために各専門部や各支部から多角的に記事を集め、編集する。配布は入会式、総会で行う。
- 4 回生の活動
 

各理事を中心にした回生毎の活動では、会報並びに「110周年記念DVD」等を有効に活用し、本会との連携を密にする。
- 5 講演会の開催
 

講演会の実施や各種イベントの開催等を行い、同窓生のなお一層の親睦を図る。
- 6 学校行事への参加と協力
 

同窓生のキャリアを生かして、学校行事には積極的に参加・協力し、在校生との交流を図る。
- 7 教育振興会への援助
 

教育振興会を通して、学校施設の充実と在校生の教育活動を支援する。
- 8 同窓生名簿の管理
 

同窓生の住所変更等の異動については、各回生からの連絡を受けた都度、速やかに処理する。
- 9 奨学金の贈呈
 

奨学金を贈呈して、母校の生徒の勉学を支援する。
- 10 ホームページの整備と活用
 

ホームページに情報を掲載し発信する。併せて運用ルールを整備する。  
同窓会公式ホームページ <https://www.koufunisikou.com>  
甲府西高の公式ホームページ <http://www.nishi.ed.jp/>の「同窓会」からも見るができます。



## 令和 3 年度 同窓会収支予算書(案)

令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで

収入総額	支出総額	差引額
3,541,641	3,541,641	0

## 収入の部

(単位:円)

科 目	3年度予算額	2年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	1,341,631	994,775	346,856	
会 費	2,200,000	2,350,000	△ 150,000	新会員会費10,000円×220名
寄 付 金	0	0	0	
積立金取崩収入	0	4,800,000	4,800,000	
雑 収 入	10	10	0	利息等
収 入 合 計	3,541,641	8,144,785	△ 4,603,144	

## 支出の部

科 目	3年度予算額	2年度予算額	増 減	備 考
謝 礼 金	100,000	0	100,000	講師謝礼等
旅 費	70,000	50,000	20,000	首都圏西高会等参加
消 耗 品 費	30,000	20,000	10,000	事務用品等
記 念 品 代	220,000	235,000	△ 15,000	卒業記念品
会 議 費	450,000	400,000	50,000	常任理事会・専門部会等
印 刷 製 本 費	360,000	360,000	0	会報印刷等
通 信 運 搬 費	70,000	50,000	20,000	各会議通知郵送料等
手 数 料	30,000	30,000	0	銀行貸金庫・残高証明・振込手数料等
教 育 振 興 費	1,000,000	5,800,000	△ 4,800,000	学校協力費
雑 費	20,000	20,000	0	お礼等
慶 弔 費	30,000	30,000	0	
活 動 費	200,000	150,000	50,000	首都圏西高会・各種催事祝金等
事 業 費	650,000	650,000	0	総会準備金・奨学金・語学留学補助
同窓会積立金	0	0	0	
固定資産購入支出	200,000	0	200,000	紙折機購入
予 備 費	111,641	349,785	△ 238,144	
支 出 合 計	3,541,641	8,144,785	△ 4,603,144	

## 第116回 同窓会定期総会収支予算書(案)

収 入 総 額	支 出 総 額	差 引 額
6,250,000	6,250,000	0

## 収入の部

科 目	2年度予算額	元年度予算額	増 減	備 考
広告・協賛金	3,000,000	3,000,000	0	企業、会員等からの広告・協賛金
総会会員券	3,000,000	3,000,000	0	会費収入 5,000円×600枚
総会準備金	200,000	200,000	0	本会より補助
雑 収 入	50,000	50,000	0	祝金、利息等
収 入 合 計	6,250,000	6,250,000	0	

## 支出の部

科 目	2年度予算額	元年度予算額	増 減	備 考
謝 礼 金	500,000	500,000	0	アトラクション諸経費
消 耗 品 費	50,000	50,000	0	事務用品費
印刷製本費	950,000	950,000	0	総会誌・会員券・写真代等
通 信 費	50,000	50,000	0	来賓案内状、連絡通信費
記 念 品 代	300,000	300,000	0	傘寿・来賓の記念品代
広 告 費	220,000	220,000	0	山梨日日新聞広告掲載料
会 場 費	3,900,000	3,900,000	0	総会・懇親会会場費・食事代等
会 議 費	240,000	240,000	0	実行委員会会議費
予 備 費	40,000	40,000	0	銀行振込手数料等
支 出 合 計	6,250,000	6,250,000	0	

# 同窓会役員

令和 3 年度

甲府西高同窓会

令和 3 年 10 月 9 日現在

役 職	氏 名
顧問 校長	初鹿野 仁
“ 教 頭	渡 邊 英 裕
“ 教 頭	小 林 健
“ 事務長	植 松 文 雄
校内 総務	風 間 富美子
“ 理 事	中 島 勲
“	今 村 幸 永
“	志 村 泉

役 職	回 生	氏 名
顧問	高 3	一 木 麗 子
“	高 14	長 坂 光 子
“	高 15	坂 本 悦 子
会 長	高 30	石 原 敬 彦
副会長	高 17	羽 田 喜久枝
“	高 30	窪 田 さゆり
“	高 30	深 川 和 彦
“	高 31	上 原 重 樹
“	高 36	入 倉 要
東京支部長	高 30	米 山 正 樹
常任理事	高 8	畔 柳 浩 子
“	高 18	藤 原 静
“	高 18	新 海 宏 子
“	高 18	窪 島 満喜子
“	高 18	安 達 映 美
“	高 19	浅 尾 三枝子
“	高 20	土 屋 和 子
“	高 20	小 野 成 美
“	高 21	小 川 けい子
“	高 22	大久保 はるみ
“	高 23	長谷部 澄 子
“	高 23	望 月 かつみ
“	高 25	長 田 美沙子
“	高 27	長 倉 美 穂
“	高 28	遠 藤 明 子

役 職	回 生	氏 名
常任理事	高 28	長 澤 伸 子
“	高 30	塚 脇 亮 一
“	高 30	深 澤 寿 子
“	高 30	本 道 民 呼
“	高 38	山 縣 正 道
会計監査	高 30	久保嶋 仁
“	高 30	塩 島 正 文
実行委員長	高 30	深 川 和 彦

役 職	回 生	氏 名
理 事	甲女42	志 村 和
“	甲女42	古 沢 なつき
“	甲女42	渡 辺 清 子
“	甲女43	堀 内 淳 子
“	甲女43	村 松 眞由美
“	甲女44	保 坂 雪 子
“	甲女44	大 口 富喜代
“	高 1	犬 飼 寿 子
“	高 1	西 川 早 苗
“	高 2	深 沢 はるみ
“	高 2	向 山 てる子
“	高 3	小 林 美佐代
“	高 3	樋 口 嘉 子
“	高 3	丸 山 徳 子
“	高 4	小 林 祐 子

役職	回生	氏名
理事	高 4	越石 惟子
"	高 5	中澤 勝子
"	高 6	林 美喜枝
"	高 6	根岸 京子
"	高 7	荒木 波満子
"	高 8	小池 たへ子
"	高 8	新井 益子
"	高 9	田之口 邦子
"	高 10	有泉 志づ子
"	高 10	後藤 武子
"	高 10	青島 洋子
"	高 11	青柳 八重子
"	高 12	葉袋 寿子
"	高 12	磐上 百合子
"	高 13	伊藤 イツ子
"	高 13	稲葉 富子
"	高 14	松本 さか江
"	高 14	中島 美智子
"	高 14	米山 紀子
"	高 15	秋山 早苗
"	高 15	内藤 規子
"	高 17	中澤 洋子
"	高 17	野田 京子
"	高 17	星野 治美
"	高 17	木地 早智子
"	高 18	清水 淳子
"	高 18	松本 由美子
"	高 19	岡部 圭子
"	高 19	熊木 俊子
"	高 20	松野 和美子
"	高 20	飯寄 勝子
"	高 20	小池 美恵子
"	高 21	仲澤 マチ子
"	高 21	依田 よし子
"	高 21	村松 昭子
"	高 22	小林 和子
"	高 23	中込 千春
"	高 23	沢登 美千子
"	高 23	清水 公子
"	高 23	佐藤 治子

役職	回生	氏名
理事	高 24	久津間 恵理子
"	高 24	塚崎 淳子
"	高 24	桂嶋 恵美子
"	高 25	若月 財子
"	高 25	丸山 ふく恵
"	高 25	興石 ちえ子
"	高 26	八巻 由規子
"	高 26	遠藤 桂子
"	高 26	伊藤 栄子
"	高 26	前橋 富子
"	高 26	梶原 薫
"	高 27	日下部 俊子
"	高 27	宮川 由美子
"	高 27	古屋 真紀子
"	高 28	雨宮 ひろみ
"	高 29	青山 和子
"	高 29	一瀬 晴美
"	高 30	猪股 尚幸
"	高 30	橘田 豊明
"	高 30	伴野 正恵
"	高 30	高野 二子
"	高 31	赤池 浩三
"	高 31	清田 明子
"	高 31	近山 貴紀
"	高 31	神宮司 易成
"	高 32	池田 敏成
"	高 33	赤池 宏満
"	高 34	野村 章博
"	高 34	田中 一之
"	高 34	坂本 正仁
"	高 34	市川 一仁
"	高 35	八巻 一弘
"	高 35	井上 雅史
"	高 35	朱宮 栄史
"	高 35	石原 貴仁
"	高 35	丹澤 寛幸
"	高 36	堤 明伸
"	高 36	神山 祐仁
"	高 36	北条 繁寿
"	高 37	野澤 昌章

役 職	回 生	氏 名
理 事	高 37	堀 田 一 昭
"	高 37	七 澤 昌 信
"	高 37	小 尾 武 久
"	高 37	斉 木 治 男
"	高 38	遠 山 晃 朗
"	高 38	平 塚 秀 人
"	高 39	北 澤 千 昭
"	高 39	清 水 雅 弘
"	高 40	清 水 尚 美
"	高 40	新 津 文 香
"	高 40	内 藤 良 一
"	高 41	山 内 利 彦
"	高 42	若 林 真 美
"	高 43	川 口 法 男
"	高 43	井 上 充 邦
"	高 44	井 前 嶋 かづき
"	高 45	杉 山 陽 子
"	高 45	永 井 学 弓
"	高 46	萩 原 真 達
"	高 46	鈴 木 也 一
"	高 47	金 子 政 一
"	高 47	藤 井 彩 一
"	高 47	樋 川 勝 一
"	高 48	海 口 憲 一
"	高 49	喜 島 知 加
"	高 50	佐々木 壮 一
"	高 51	金 丸 浩 司
"	高 51	進 藤 敬 子
"	高 52	浅 利 慶 太
"	高 53	上 田 浩 司
"	高 54	坂 本 勇 太
"	高 54	柊 沢 芳 美
"	高 55	今 村 友 一
"	高 55	藤 原 麻 帆
"	高 55	向 山 憲 稔
"	高 56	丸 山 葉 子
"	高 57	丸 茂 総 太
"	高 57	鈴 木 美 紀
"	高 58	水 上 拓 匠
"	高 59	村 松

役 職	回 生	氏 名
"	高 59	内 藤 麻 美
"	高 60	望 月 陽
"	高 60	野 田 成 美
"	高 61	渡 邊 敬 太
"	高 61	井 戸 理 沙
"	高 62	渡 辺 健 司
"	高 62	斉 藤 わかな
"	高 63	一 場 雄 樹
"	高 63	八 卷 菜 保 子
"	高 64	横 山 俊 樹
"	高 64	西 木 愛 志
"	高 65	青 野 大 志
"	高 65	横 内 詩 音
"	高 66	五 味 永 行
"	高 67	小 林 太 奈
"	高 67	松 下 加 平
"	高 68	笹 本 恭 真
"	高 68	栗 冠 帆 河
"	高 69	松 土 大 瑞
"	高 69	寺 井 優 真
"	高 70	中 澤 里 仁
"	高 70	飯 室 野 仁
"	高 71	大 長 澤 謙
"	高 71	親 松 信
"	高 72	篠 原 綾 花
"	高 72	篠 原 孝 旺
"	高 73	齊 藤 中 愛
"	高 73	田 中

# 同窓会会則

## 第 1 条 (名称)

本会は、山梨県立甲府西高等学校同窓会と称する。

## 第 2 条 (目的)

本会は、会員相互の親睦をはかり、母校との連絡を密にしつつ、進んで相互の向上進歩をはかることを目的とする。

## 第 3 条 (組織)

本会は、下記の者をもって組織する。

- 1 会員 (1) 普通会員—県立山梨県高等女学校・山梨県立高等女学校・山梨県立第一高等女学校・山梨県立甲府高等女学校の本科並びに専修科・実科の卒業生、補修科・専攻科修了生、併設中学校卒業生、山梨県立甲府第二高等学校、山梨県立甲府西高等学校卒業生
- (2) 準会員—本会設立家政研究科修了生及び本校に在籍した者の中の希望者で、2名以上の会員から推薦された者

2 客員 母校の職員及び旧職員

## 第 4 条 (役員)

本会に下記の役員をおき、任期を2ヶ年とする。ただし再選をさまたげない。

- 1 会 長 (1 名) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。選出は理事会の互選により選出し総会の承認を得る。
  - 2 副 会 長 (若干名) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。選出は理事の中より会長が委嘱する。
  - 3 事務局長 (1 名) 事務局は、庶務、企画、会計各部と会長副会長との連絡調整、各種記録の保存管理等本会の業務全般の事務処理を担当する。
  - 4 庶務部長 (1 名) 庶務部は、議事録の作成、行事全般の記録、欠席役員に対しての連絡通達、会報の作成等を担当する。
  - 5 企画部長 (1 名) 企画部は、講演会、レクリエーション等、同窓会事業の立案、回生対策等を担当する。
  - 6 会計部長 (1 名) 会計は、一般会計及びその他の会計の金銭管理、事業予算対策及び終身会費の徴収等を担当する。
- ※ 上記の事務局長、庶務、企画、会計の各部長1名の他、事務局次長2名、各副部長2名を選出する。事務局次長、副部長は、事務局長、部長を補佐し、局長部長事故あるときは代行する。事務局長、事務局次長、各部長、副部長の選出は、理事及び理事経験者の中より会長が委嘱する。
- 7 常任理事 (若干名) 理事及び理事経験者の中より会長が委嘱する。事務局、庶務、企画、会計の各部門に所属し事務を担当する。

- 8 理 事 各回生より選出し会長が委嘱する。諸事項を協議し、本  
会と回生の連絡に当たる。
- 9 校内理事（若干名）母校の職員から会長が委嘱する。母校と本会との連絡に  
当たる。
- 10 会計監査（2 名）理事の互選により選出し、総会の承認を得て会計監査に  
当たる。
- 11 顧 問（若干名）母校の現職の校長・教頭及び本会の会長であった者は顧  
問とする。また本会のために特に適当と認められた者は、  
理事会において推薦し、顧問とする。名誉顧問をおくこ  
ともできる。

第 5 条（総会・入会式）

定期総会は、毎年度できるだけ早期に開催する。但し、必要に応じて臨時総会  
を開くことができる。新会員入会式は、卒業式の前日に行う。

第 6 条（役員会）

会長は、必要に応じて常任理事会・理事会を召集する。

第 7 条（事業）

本会は、次の事業を行う。

- (1) 会報及び名簿の発行。
- (2) 奨学金制度の設置。
- (3) その他本会の目的達成に関して必要と認められた事業。

第 8 条（決議）

本会の決議は、総会において、出席会員の過半数の同意を得てこれを定める。

第 9 条（経費）

本会の経費は、入会金・終身会費並びに寄付金をもってこれに当てる。

- (1) 会員は、入会の際、入会金、終身会費を納入する。
- (2) 昭和 57 年度以前の会員は、終身会費を納入する。

第 10 条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする。

第 11 条（届出事項）

- (1) 会員は、その住所・氏名に変更があったとき、その他一身上の異動のあつ  
たときは、直ちに事務局に通知する。
- (2) 本会に支部を置くことができる。
- (3) 会員が本会の後援を必要とする場合は、別紙に必要事項を記載の上、会  
長に届出、理事会の承認を得る。

第 12 条 会員及び客員の慶弔、その他の件については、別に決めた内規により行う。

付 則 この会則は、平成 11 年 4 月 29 日から施行する。

改訂 平成 16 年 5 月 2 日  
平成 28 年 5 月 15 日  
平成 29 年 5 月 14 日



# 特集

# 繫ぐ TSUNAGU

— 寄稿は令和2年5月発行予定時にされました —



## 最後の二高生

恩師

古 屋 義 裕 先生

突然の異動で着任してみると、春に完成したばかりの4階建ての見たこともないような立派な校舎がそびえていた。そこには、セーラー服の2～3年生と、ブレザー姿の1年生がいた。私は二高生最後となる2年生の担任になった。全く思いもかけないことであった。

二高生には他校の女子生徒に無い澆刺さがあった。こんな一面もあって新鮮だった。職員室の先生方の机の上にはいつも花がある。生徒たちが持ってくるのである。お目当ての先生もいるのだが、自分たちの担任の所にだけ無いのはかわいそうという思いから（たぶん）、私の所も途切れることはなかった。

先生と生徒の距離は近かった。その表れの一つが学園祭での先生方の演劇発表である。ベテランの国語の先生が脚本を書き、大勢の先生が放課後何日もかけて、時には夜食を共にしながら練習をし、舞台装置を作った。当日は喝采を浴びた。思うに当時は先生方にもいろいろの意味で余裕もあったのだ。

忘れられない思い出を一つ。LHRの時間、散歩に出た。48人のセーラー服と早春の荒川の土手をそぞろ歩いた。明るい陽光とさんざめき。今振り返ってみればモノクロの青春映画の1シーンのような気がする。

彼女らの卒業式。すすり泣きが聞こえる中、「もう2度とセーラー服を見ることができないと思うと寂しくて寂しくて」という答辞の一節にはさすがに目頭が熱くなった。

よき時代の、思い出深い、いい教員生活を送らせて頂いたと思う。

---

**プロフィール** 東京教育大（現筑波大）卒。甲府二高・西高に5年間勤務。中国四川大学特任教授として1年間勤務。県教委指導主事。総合教育センター副所長。石和高校校長。山梨県立大非常勤講師。



はるかなる道

佐藤 八重子  
(甲女 39 回生)

おん宮みやのいできます道を清めんと 甲斐の野山さみだれに降れる五月雨

この頃、物忘れがひどいのに甲府高女四年生の時の日記に書いたこの短歌が、今も記憶に残っています。もう八十年近い昔なのに。

昭和十七年五月、梨本宮なしもとのみやさま様が甲府高女に御来臨になる日の朝、庭に出たら小雨がぱらついていました。もっともすぐに止みましたが。

時は戦時下。宮様御来臨は学校としてはこの上ない名誉です。一ヶ月前から全校生競争で教室の横の廊下を磨きました。また各学年から書道と絵の上手な生徒が招集されて、来賓室に飾る作品を製作しました。四年生で絵の方で選ばれたのは小沢さん、野呂瀬さん、山口さんと私でした。山口さん達は春休みの宿題に描いてきた風景画でよかったのですが、私は画仙紙がせんしに描いた藤の花のお手本を頂いて、毎日家に帰ってから練習し、やっと美術の永田先生のお目にかなった一房ひとふさの藤の花の絵は額装され、宮様御来臨後も校長室に掛けられていました。

それから幾星霜、家業と家事にいそがしく絵とは無縁の日々でしたが、子育ても一段落した頃、母に誘われ、母より四年下級生だった叔母も誘い、絵の会に入れて頂きました。

三人の絵を当時の展示会場だった県民会館地下室に、主人に車で運んでもらったものです。母、叔母が逝き、私もしばらく会に御無沙汰しておりましたが、又入れて頂きました。

その私ももう九十三歳、それでも庭の花を見ると絵心をそられるのは、西美展という発表の場があるからでしょう。地区の高齢者作品展で優秀賞を頂いたのも、西美会会員として絵筆に親しんでいたからだと思います。

敬老の日に孫が三十五色の岩絵具をプレゼントしてくれました。さあ、頑張って描こう。こんな年寄りですが西美会の皆様方、よろしくお願ひします。

プロフィール	佐藤八重子 旧姓斎藤	子供は長女、長男、次男
	大正 15 年 4 月 6 日生 93 歳	孫 9 人 曾孫 16 人
	昭和 14 年 4 月 甲府高等女学校 入学	曾孫は現在高校生 3 人、中学生、小学生、幼稚園児
	昭和 18 年 3 月 甲府高等女学校 卒業	長女は当時の二高卒 (25 回生)
	昭和 18 年 4 月 甲府高女専攻科 入学	孫達は西高卒業 曾孫は西高在学
	(専攻科 1 期生)	只今は長男夫婦、孫一人と同居しています。
	昭和 19 年 3 月 甲府高女専攻科 修了	家事はすべて嫁にまかせ、呑気に読書などしております。
昭和 24 年 4 月 佐藤家に嫁す		
平成 10 年 9 月 主人 恒 (ひさし) 没		



## 「二高最後の卒業学年、そしてアメリカへ」

Kitrick 樋口 朋子  
キトリック  
(高 29 回生)

サンディエゴの自宅の裏庭から、一面に広がる太平洋を見ながら、この海の先に日本へと、日々変わる空と海の色と景色を眺めながら、遠く故郷の事を思い起こします。私は、二高女子高最後の学年に入学しました。

初めての女子校の世界の一年生、学年の終わりには、校舎引っ越しの為、部活の物を旧校舎から、新校舎へ歩いて、運びました。その時の寒さの中、夕焼け空に、綺麗な山々の景色が目には焼き付いています。

私達が二年生になると、新校舎で、男子生徒と新しい制服の女子生徒が入学してきました。私達二年生、三年生は、校舎の上の階から、選抜制度で入学してきた一年生を、なんとなく眩しい感じで、眺めていたような気がします。私達は、女子校から共学への変動を肌で感じた学年だったと思います。そして卒業時には、セーラー服最後の二高としての卒業式と、メディアの取材軍が多々来ていたのが印象的でした。

アメリカの大学で勉強したいと思っていた私は、一度は親の希望で日本の短大へ進学した後、親を説得してアメリカの大学を受験したのですが、高校からの成績証明書、推薦状等を頂いた時には、高校の名前は、甲府西高に、変わっていました。

アメリカの東部、中西部、そして、カリフォルニアも、サンタ・バーバラ、シリコンバレーを経て、今、西海岸最南部のサンディエゴに住んでいます。同じ国でも、気候も、文化も景色も全然違うそれぞれの地で、学生として、社会人として、また三児の母親として、いろいろな人々に出逢い、その環境と変化に順応していく力は、二高から西高への変動の時代に、ついたような気もしています。

今は、この温暖な気候、海とキャニオン、自然に恵まれたサンディエゴで、和の物に惹かれて、お茶を習い始めたり、着物会、フラダンス、ハイキング等、そして、旅行が好きなので、日本へ里帰りの他に、毎年ヨーロッパのあちこちで、新しい発見を楽しんでいます。

### ***Life is too short, enjoy!***

**プロフィール** 小学生の頃、大阪万博を通して異文化を知り、英語を学んで世界の人と出会いたいと願望をもつようになった。1977年甲府第二高校卒業後、短大からペンシルベニア大学に留学、帰国。  
その後、結婚を機に、アメリカ移住。1986年セントルイス大学国際ビジネス学科卒業。シリコンバレーでは、加州三和銀行 - 国際企業部ローンオフィサー、NECエレクトロニクス USA- 副社長秘書、サンディエゴへ引っ越し SONY エレクトロニクス - ビジネスプランナー等を経験した後、家族との時間を優先するために2008年に退社、その後、趣味、旅行をエンジョイしている



高校時代から皆様のおかげで。

甲府共立病院眼科

加 茂 純 子

(高31回生)

15歳の夢は古代エジプトの考古学者のお嫁さんになることだった。高1年の担任の故中山昭太郎先生より、「考古学では食っていけぬ。技術をもってエジプトへ行け。」と言われた。父で9代の医家の家系で、3人姉妹の長女だったが、継がなくてよいと言われたが、妹直子(幼稚園から大学まで一緒)の担任だった進路指導の故・山本克英先生が、英語ができるなら数学もできると、高3年の夏に特訓してくださった。浪人はなし、国立のみという父の言葉に、四面楚歌の面持ちで受験した。共通一次の朝は大雪で、早く出たら1時間も早くついてしまい、大手の故・窪田良雄先生(4歳から習ったバイオリンの先生)宅によらせていただいた。「本番で実力発揮するには手足を温めること。」と、ストーブで手をお茶で体を温めてくださり、出るときに足を入れたブーツが温かく超感激で、120%の力が発揮できた。浜松医大では妹と一年先輩の磯崎泰介さんとオーケストラを創設した。故・矢島文夫先生(古代オリエント学者)に無償でヒエログリフを教えていただき、エジプトへはアルバイトした資金で旅行したがひどい下痢で、やはり日本で働くことにした。

山梨大学眼科の故・塚原重雄教授下で研修、大阪の西眼科をへて、スコットランドに夫について留学した。38の時に夫がなくなり、両親の助けもあったが、当時2歳だった息子を育てるのにも医師になっていて、本当に良かったと思った。エジンバラ大学 Calbert Phillips 名誉教授(今年94歳)の励ましで、論文を書くようになり、山梨県視覚障害者を考える会をつくり、田辺直彦先生と年3回県立図書館で講演会を続けている。(第19回には視覚障害と音楽の講演会では同級の長唄の志村かしわさんも講師としておよびした。)視覚喪失しても自立した生活ができるよう、助けていきたい。

バイオリンは山梨に帰ってから山梨大学管弦楽団OB会や「たまほ弦楽アンサンブル」に混ぜていただいている。同級のオーボエの長田浩一さんや東條正人さんのご子息 バイオリニスト太河くんと共演の機会もあった。毎年春分の日に Kingswell hall で演奏会をしている。残りの人生は今まで受けた(ここには書ききれない)恩をできる限り返していきたい。



中央、太河くん その向かって右が筆者

プロフィール	1979	甲府西高卒	1997-1999	防衛大、順天堂大学
	1985	浜松医大卒	2002-現在	甲府共立病院 眼科科長 ロービジョン学会評議員など
	1987	大阪 西眼科病院	2016	英国視覚喪失アドバイザー資格とる。
	1990	眼科専門医		
	1992-1994	英国 Dundee 大学 (英国の医師免許取る)		
	1994-1997	京都大学 第2岡本病院(宇治)		



## 今 再びふるさとへ

丹波山村長

岡 部 岳 志

(高 39 回生)

私の出身地は、山梨県の東北部で東京都の県境にある丹波山村です。丹波山村には、県内に出る公共交通機関がなかったことから中学卒業と同時に親元を離れ寮生活をするようになりました。入学当初は友達もなく、寮には二歳年上の兄、村の先輩や同級生が数名おりましたが、親元を離れた寂しさや不安から何度も枕を濡らしたことを思い出します。

部活動は、1年の時は、硬式テニス部に入部しましたが、2年、3年では、ラグビー部に所属し、試合にも出場しました。

学校や寮生活など、高校生活の中で学んだ様々なことや部活動での経験、同じ時間を共に過ごした友人は一生の宝物となっています。

卒業後、旅行関係の専門学校で学び、都内の旅行関係の会社に就職しましたが、25歳で丹波山村に戻り、地元の女性と結婚、婿入りし、坂本姓から岡部姓になりました。

その後、二人の娘を授かり丹波山村で生活をしておりましたが、娘が都立高校への入学を希望したため都内に居住しておりました。その間も、丹波山村への愛着は断ち切りがたく、猟友会、伝統芸能、漁業組合などをおして交流を続けておりました。

そのような中、現職の村長が急逝し、私に就任依頼が参りました。

丹波山村は、関東で一番小さな人口の村で、人口減少のみならず、少子高齢化、基幹産業の衰退等、中山間地特有の課題に直面しておりますが、前村長が未来のために蒔いた様々な種が芽を出し、育ち始めたことを感じていたことから、それを引き継ぐ決心をし、令和元年6月に村長に就任しました。

今後は、丹波山村の新庁舎建設や空洞化した村内の再整備をはじめ、観光立村としての施策を展開しようと考えております。

丹波山村は自然豊かで良質の温泉もありますので、同窓会会員の皆様におかれましては、是非お越しいただければ幸いです。

---

プロフィール	1987年	甲府西高卒業		
	1989年	トラベルジャーナル旅行専門学校卒業		
	1989年	(株)IPS 入社	1990年	(株)IPS 退社
	1990年	河野医院 入職	1993年	河野医院 退職
	1993年	家業の林業に従事		
	1995年	奥多摩工業(株) 入社	2005年	奥多摩工業(株) 退社
	2006年	(株)多摩農林 入社	2019年	(株)多摩農林 退社
	2019年～現在	丹波山村長		



## 回顧と感謝

株式会社 ZEALOT  
代表取締役  
常 盤 臣  
(高 51 回生)

ミレニアムが差し迫った 1999 年 3 月に私は西高を卒業しました。あれから 20 年余りの時が過ぎ、2019 年 8 月に高 51 回生同級会が開催されました。多くの参加者、先生方を見るにつけ、当時の記憶が鮮明に蘇ってきました。卒業以来、このような人数で集まる事がなかったため、いくらかの緊張と、たくさんの懐かしさで心がいっぱいになりました。また、奇しくも山梨日日新聞の「元気甲州人」というコーナーに取り上げていただいて寄稿したこともあり、2019 年は私にとって回顧の年となりました。

私は、西高卒業後にコンピュータの専門学校へ進学しました。当時 Windows 98 が一般に普及し始めた時期です。将来コンピュータを使った仕事をしたいと、両親に頼んで専門学校に行かせてもらったのでした。専門学校卒業後は地元のソフトウェア開発企業へ就職、数年お世話になりました。その後はフリーランスのエンジニアを経て、2008 年に東京で起業しました。現在は二十数名の社員とともに、現役でプログラマーの業務もこなす日々です。

近況を書き連ねてみると、順風に見えるかもしれませんが、しかし、実は西高の生徒だったとき、特に 1 年生から 2 年生にかけては担任の伊藤哲也先生に多大な心配と迷惑をかけてしまいました。恥ずかしながら、当時は素行が良くなく、たびたび問題を起こしていました。そんな私を卒業まで導いてくださった先生方には感謝の念に堪えません。20 年の時が経ち、同級会にて先生方に改めて謝意を伝えられたことが何より嬉しく、またこれから頑張ろうと思える糧となりました。

私は地元山梨が大好きです。IT 関連の仕事は東京に一極集中していますが、今後の多様な働き方を実現していくためにも IT の力が不可欠です。よりもっと山梨が盛り上がるよう、私ができる限りのことを尽くしていきたいと思っています。

この度はこのような執筆の機会をくださり、誠にありがとうございました。

### プロフィール

1980 年生まれ、1999 年甲府西高卒業。専門学校サンテクノカレッジ情報システム科にてコンピュータの基礎を学ぶ。2001 年、甲府のソフトウェア開発企業に就職。2007 年、フリーランスのエンジニアとして独立。2008 年、株式会社 ZEALOT を設立し、代表取締役に就任。モノづくりが好きな性根であるため、現在もエンジニアリング業務を担う。



## 西高での経験に感謝！

伊 藤 奏 絵  
(高 68 回生)

私は 2016 年に西高を卒業し、現在は愛知県立大学中国学科で中国語を勉強しています。こうして大学で自分の好きな勉強ができるのは、西高の先生方のおかげです。

### 1. 放課後の個別指導塾

高校時代の私は、勉強ができる方ではなく授業を聞いてもわからないことばかりでした。そのため放課後は毎日のように職員室に行き質問をしていました。時には関わりのない他学年の先生に指導してもらうこともありました。一人の生徒に対しここまで熱心に指導していただけるのは西高だけだと思います。特に当時の学年主任だった廣瀬先生には、非常に感謝しています。二年生から大学合格まで英語の指導をしていただき、苦手な英語を克服し外国語学部合格することができました。

### 2. 部活動

剣道部と文芸部に所属し、勉強と同じくらい熱を入れていました。剣道部では今村先生、前田先生の指導の下、毎日稽古に打ち込みました。文芸部では顧問の奥田先生に、さまざまな大会に引率していただきました。國學院大學で行われた関東地区高校生文芸大会で私の書いた詩が谷川俊太郎さんに好評をいただいたこと、文学館で開催された詩の大会で、レミオロメンの藤巻亮太さんに私の作品を選んでいただき表彰されたことなど、今でも忘れられない思い出ばかりです。

### 3. 大学での活動

京都外国語大学主催第 31 回全日本中国語弁論大会、日中友好協会主催第 37 回全日本中国語スピーチコンテスト愛知県大会において最優秀賞をいただきました。来年 1 月には愛知県代表として東京で行われる全国大会に出場します。中国語で原稿を書くのですが、文芸部で磨いた表現力、受験の英作文で鍛えた論理的な文章を書く力など西高での経験が活きていると思います。将来は大学で学んだ中国語を活かし、国際的に活躍できる人材になりたいと思います。

最後に今回拙文を掲載していただいた同窓会総会誌に関わる皆様と同窓生の皆様に心より御礼申し上げます。

---

**プロフィール** 2016 年 3 月甲府西高校卒業。田富中学出身。同年 4 月愛知県立大学外国語学部中国学科入学。2018 年から 2019 年 7 月まで北京第二外国語学院に留学。大学では剣道部と能学部所属。





## 輝く卒業生の一員に

中 田 玲 奈  
(高 69 回生)

「私は甲府二高卒業よ」

そう言う祖母の顔はいつも誇らしげです。

「第二次世界大戦から約5年後の混乱期、教育を受けることなどままならない方も多い中、高校まで通わせてもらえた。甲府二高の卒業生達は皆勉強に対し貪欲で教養に溢れ、卒業後も各方面で活躍している。」

子供の頃から繰り返し聞いたこの話のおかげで、自身の進路選択に迷いはありませんでした。

『甲府西高校へ行くんだ』

憧れだけで入学したものの、なんて勉強のできる人が多いのだろう。そして勉強だけではなく楽器演奏であったりスポーツであったり…天は二物を与えていますよね？と言いたい人がなんと多かったことか。

正直ついていけず登校拒否になった時期もあり、いっそ高校を中退したらこの苦しい状況から逃げられるかもしれないと思った事もありました。

しかし西高を卒業した今ではそれら全てが懐かしく、かけがえのない友人達をも得ることの出来た3年間でした。

先日、勇気をもって参加したベストオブミス山梨大会においてミスユニバーシティ山梨グランプリ・代表に選出して頂きました。ミスユニバーシティとは、『今できること』をキャッチフレーズに将来社会でリーダーシップを発揮する、次世代のオピニオンリーダーとなる人材の発掘をコンセプトとするものです。コンテストに向けてのトレーニングでディベートや研究発表が毎回ありました。その際に西高で培われた知識、自ら考え行動する力がとても役立ちました。

各方面で活躍し、輝き続ける卒業生の方々に続けるよう、甲府西高校卒業生としての誇りを胸に日々を過ごしていきたいと思います。



プロフィール	2017年 3月	甲府西高校卒業
	2019年 3月	東京コレクション 2019AW 出演
	2019年 4月	桜美林大学3年次編入学
	2019年 10月	東京コレクション 2020S/S 出演
	2020年 3月	ベストオブミス山梨大会 ミスユニバーシティグランプリ
	2020年 11月	ミスユニバーシティ日本大会(予定)

# がんばっている在校生たち

令和元年度

## ～関東・全国大会出場及び活躍の記録～

- 陸上部 関東高等学校陸上競技大会出場  
男子400m 男子400mH
- 男子バスケットボール部 関東高等学校バスケットボール大会出場
- 体操部 関東高等学校体操競技大会出場  
男子個人 女子団体  
全国高等学校総合体育大会体操競技大会出場  
男子個人 体操個人
- 新体操 関東高等学校体操競技大会出場  
女子個人  
全国高等学校総合体育大会体操競技大会出場  
女子個人
- 卓球部 関東高等学校卓球競技大会出場  
女子団体 女子シングルス 女子ダブルス  
関東高等学校選抜卓球大会出場  
女子団体  
天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会 ジュニア部 関東ブロック大会出場  
女子シングルス
- 吹奏楽部 山梨県高等学校芸術文化祭吹奏楽部門発表会 芸術文化祭賞  
(全国高等学校芸術文化祭への出場権獲得)
- 音楽部 山梨県高等学校芸術文化祭合唱部門大会 芸術文化祭賞  
(全国高等学校芸術文化祭への出場権獲得)
- 囲碁将棋部 全国高等学校囲碁選手権大会出場  
女子個人  
全国高等学校総合文化祭囲碁部門出場  
女子団体  
関東地区高等学校囲碁選手権大会出場  
女子団体 女子個人  
全国高等学校総合文化祭将棋部門出場  
女子個人  
関東地区高等学校文化連盟将棋大会出場  
女子個人
- 文芸部 関東地区高校生文芸大会 詩の部 分科会賞  
関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会出場

**放送部** NHK 杯全国高等学校放送コンテスト  
 朗読部門出場 創作テレビドラマ部門出品  
 全国高等学校総合文化祭放送部門  
 ビデオメッセージ部門出品  
 全国高等学校総合文化祭放送部門出場  
**新聞部** 全国高等学校総合文化祭新聞部門出場

## 令和2年度 ～関東・全国大会出場及び活躍の記録～

**陸上部** 関東高等学校選抜新人陸上競技大会出場  
 男子走り幅跳び 男子三段跳び  
**卓球部** 関東高等学校選抜卓球大会出場  
 女子団体  
 全日本卓球選手権大会出場  
**吹奏楽部** 全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門出場  
**音楽部** 関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト出場  
**囲碁将棋部** 全国高等学校総合文化祭将棋部門出場  
 男子個人 女子個人  
 関東地区高等学校文化連盟将棋大会出場  
 男子個人 女子個人  
**放送部** 全国高等学校総合文化祭放送部門朗読部門出場  
**新聞部** 全国高等学校総合文化祭新聞部門出場

# ～卒業生の進路を追って～

## 過去5年間の合格状況(現役のみ)

種 別		令和元年度 (6クラス)	平成30年度 (6クラス)	平成29年度 (6クラス)	平成28年度 (6クラス)	平成27年度 (7クラス)
大 学	国立4年制	75	92	116	91	131
	公立4年制	60	39	42	38	59
	私立4年制	431	300	279	321	495
大 学 校		2	0	2	1	2
短 期 大 学		2	6	3	4	12
各 種 専 修 学 校		5	5	2	11	5
海 外 の 学 校		0	0	0	0	0
就 職		0	1	0	0	0

## 令和2年3月卒業生(236名)の合格状況

(数字は人数)

国公立大学(135名)			
山 梨 大	27	東 北 大	1
山 梨 県 立 大	14	秋 田 大	1
都 留 文 科 大	12	山 形 大	1
静 岡 大	11	茨 城 大	1
信 州 大	8	宇 都 宮 大	1
東 京 学 芸 大	6	埼 玉 大	1
横 浜 国 立 大	5	千 葉 大	1
東 京 都 立 大	5	名 古 屋 大	1
静 岡 文 化 芸 大	5	奈 良 女 子 大	1
筑 波 大	3	広 島 大	1
前 橋 工 科 大	3	青 森 県 立 保 健 大	1
高 崎 経 済 大	3	秋 田 県 立 大	1
横 浜 市 立 大	3	埼 玉 県 立 大	1
静 岡 県 立 大	3	新 潟 県 立 大	1
新 潟 大	2	長 岡 造 形 大	1
富 山 大	2	京 都 府 立 大	1
長 野 大	2	公 立 鳥 取 環 境 大	1
長 野 県 立 大	2	県 立 広 島 大	1
岩 手 大	1		

\*防衛医科大学校 1      海上保安大学校 1  
大月短大 1      松本短大 1

私立大学(431名)			
東 洋 大	25	近 畿 大	6
神 奈 川 大	23	獨 協 大	5
山 梨 学 院 大	23	芝 浦 工 業 大	5
日 本 大	19	上 智 大	5
北 里 大	17	横 浜 薬 科 大	5
山 梨 英 和 大	15	国 際 医 療 福 祉 大	4
東 京 工 科 大	13	駒 澤 大	4
専 修 大	12	東 京 造 形 大	4
武 蔵 野 大	11	東 京 薬 科 大	4
成 城 大	9	東 京 都 市 大	4
中 央 大	9	明 治 学 院 大	4
東 京 理 科 大	9	立 命 館 大	4
法 政 大	9	学 習 院 大	3
常 葉 大	9	杏 林 大	3
順 天 堂 大	8	工 学 院 大	3
明 治 大	8	国 学 院 大	3
文 教 大	7	実 践 女 子 大	3
大 東 文 化 大	7	成 蹊 大	3
津 田 塾 大	7	玉 川 大	3
東 海 大	7	東 京 電 機 大	3
東 京 家 政 大	7	東 邦 大	3
健 康 科 学 大	7	武 蔵 大	3
東 京 農 業 大	6	立 教 大	3
早 稲 田 大	6	そ の 他	71

## 過去5年間の合格状況(現役のみ)

種 別		令和2年度 (6クラス)	令和元年度 (6クラス)	平成30年度 (6クラス)	平成29年度 (6クラス)	平成28年度 (6クラス)
大 学	国立4年制	86	75	92	116	91
	公立4年制	50	60	39	42	38
	私立4年制	368	431	300	279	321
大 学 校		0	2	0	2	1
短 期 大 学		4	2	6	3	4
各 種 専 修 学 校		7	5	5	2	11
海 外 の 学 校		0	0	0	0	0
就 職		0	0	1	0	0

## 令和3年3月卒業生(233名)の合格状況

(数字は人数)

国公立大学(135名)			
山 梨 大	40	宇 都 宮 大	1
信 州 大	13	群 馬 大	1
山 梨 県 立 大	11	埼 玉 大	1
東 京 都 立 大	9	電 気 通 信 大	1
横 浜 市 立 大	8	東 京 外 大	1
東 北 大	6	新 潟 大	1
静 岡 大	5	愛 知 教 育 大	1
横 浜 国 立 大	4	愛 知 県 立 大	1
都 留 文 科 大	4	名 古 屋 大	1
静 岡 文 化 芸 大	3	大 阪 大	1
東 京 学 芸 大	2	高 崎 経 大	1
富 山 大	2	東 京 農 工 大	1
長 野 大	2	新 潟 県 立 大	1
長 野 県 立 大	2	福 知 山 公 立 大	1
諏 訪 東 京 理 大	2	静 岡 県 立 大	1
北 海 道 大	1	群 馬 健 康 科 学 大	1
秋 田 大	1	尾 道 市 立 大	1
茨 城 大	1	富 山 県 立 大	1
筑 波 大	1	岩 手 県 立 大	1

\*山梨学院短大 3      大月短大 1

私立大学(431名)			
日 本 大	21	大 妻 女 子 大	4
山 梨 学 院 大	19	共 立 女 子 大	4
神 奈 川 大	17	杏 林 大	4
東 洋 大	16	東 京 理 科 大	4
中 央 大	14	明 星 大	4
法 政 大	14	神 奈 川 工 科 大	4
駒 澤 大	13	亜 細 亜 大	3
実 践 女 子 大	11	女 子 栄 養 大	3
北 里 大	10	白 百 合 女 子 大	3
工 学 院 大	10	大 東 文 化 大	3
明 治 大	10	津 田 塾 大	3
常 葉 大	8	東 京 家 政 大	3
芝 浦 工 大	7	東 京 女 子 大	3
専 修 大	7	日 本 女 子 大	3
東 海 大	7	立 教 大	3
立 命 館 大	7	早 稲 田 大	3
順 天 堂 大	6	山 梨 英 和 大	3
中 京 大	5	青 山 学 院 大	2
東 京 工 科 大	5	上 智 大	2
武 蔵 野 大	5	昭 和 薬 大	2
明 治 学 院 大	5	玉 川 大	2
フ ェ リ ス 女 大	5	東 京 薬 大	2
近 畿 大	5	関 東 学 院 大	2
文 教 大	4	学 習 院 大	1
千 葉 工 業 大	4	そ の 他	63

## 第 116 回 定期総会実行委員会

実行委員長 曾根 順子 (高 29 回生)

副実行委員長 浅尾 美枝子 (高 19 回生) 一瀬 晴美 青山 和子 (高 29 回生)

実行委員 (高 29 回生) 秋山 清美 網倉 真弓 植松 百合 岡 恵里  
小笠原 日登美 岡田 みづえ 荻野 千栄 長田 馨  
玄間 智恵美 佐藤 美紀 佐藤 葉子 志村 和美  
志村 加代子 鈴木 美智子 土屋 生美 深澤 笑美子  
村松 美奈子 森 万里子



---

### 編集後記

第 116 回西高同窓会誌は「繋ぐ」をテーマに発行させていただきました。  
恩師・同級生・関係者各位のご協力と協賛・寄付をいただき、発行の運びとなりました事を心よりお礼申し上げます。

定期総会の二度にわたる延期・中止により、高 29 回生の活動開始から発行まで 3 年を要しました。

この期間中に、同級生との旧交はより温められ、新たに多くの友を得られた喜びもありました。長い期間、世界を揺るがす困難な状況でしたが、私たち高 29 回生は甲府二高最後の卒業生として、誇りを持って次代にバトンを繋げられたと思っています。この様な貴重な機会をいただき、感謝いたします。

母校の更なる発展と同窓会会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

実行委員一同

山梨県立甲府西高等学校同窓会 第116回定期総会誌  
令和3年(2021)年10月9日発行

編集・発行 第116回定期総会実行委員会  
〒400-0064 甲府市下飯田4-1-1  
TEL・FAX:055-228-5161  
印刷・製本 株式会社 島田プロセス  
〒409-3867 中巨摩郡昭和町清水新居1534  
TEL:055-233-8829

再生材利用促進

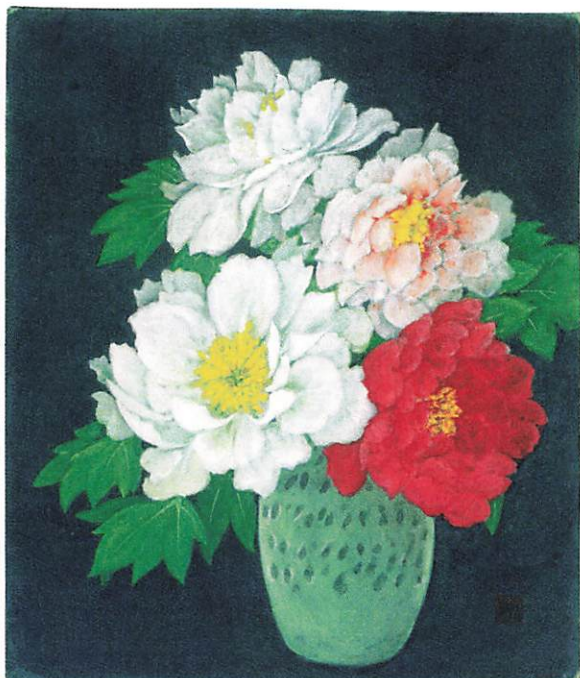


この印刷品には、山梨県の森林緑産材が利用されています。  
使用する事で収益金の一部は、山梨県緑化推進機構に寄付され、  
森林環境保護・水質保全の支援に役立てられます。

総合テーマ

繋ぐ ~次代と悠久のその先へ~

表紙



裏表紙



佐藤八重子(甲39回生) 西美会会員

テーマ書

萩野蘭舟〔萩野千栄〕(高29回生)

第116回  
**定期総会**  
山梨県立甲府高等女学校同窓会  
山梨県立甲府第二高等学校同窓会  
山梨県立甲府西高等学校同窓会  
同窓会会長 佐藤 八重子  
実行委員長 萩野 蘭舟

日 時：令和2年5月17日(日)  
会 場：甲府 記念日ホテル TEL.055-253-8111

受付・開場……………9:30~  
総 会……………10:30~11:30  
余興の祝い……………11:35~11:45  
懇親会・アトラクション 12:00~15:00

————— アトラクション —————  
第1部  
甲府西高等学校ダンス部  
第2部  
東條大河ヴァイオリンコンサート

**会員券：5,000円**  
卒業の都合により、3月20日(金)までに各籍生  
責任者に会費を請求してお申し込みください。  
\*年会費の未払品目の場合は会員資格は不承認です。  
【各籍別定価】高9・19・29・39・49回生  
お問い合わせは各籍先輩までお願いいたします

同窓会ホームページ <https://kofunishikou.com>

チラシ

甲府高女・甲府二高・甲府西高  
第116回 定期総会会員券 ¥5,000  
甲府高女・甲府二高・甲府西高  
第116回 定期総会

No.0000 ¥5,000  
出陣校の番号にご印を付けてください。  
1. 山梨県立甲府高等女学校卒業  
2. 山梨県立甲府第二高等学校卒業  
3. 山梨県立甲府西高等学校卒業

日 時：令和2年5月17日(日) No.1234  
●受付・開場：9:30~  
●総会・懇親会：10:30~15:00  
会 場：甲府 記念日ホテル ☎055-253-8111  
主 催：山梨県立甲府西高等学校同窓会  
※購入された会員券の払い戻しはご遠慮ください

チケット



